

小学生までの子どもを持つママ300名に聞く「家庭の菌ケア」実態調査

春は菌が増え始める季節、あなたは大丈夫？

菌の温床になりがちな

ソファのお手入れ率はたったの5割！

よく分からないから、面倒だから、布製品の除菌は「不十分」(76.7%)。

～一度除菌しても菌はまた増える。こまめに正しく除菌を～

春は冬と比べ温度も湿度も上昇し、実は菌が増殖する季節です。消臭・除菌スプレー「ファブリーズ」を販売するP&G(本社：神戸市)は、小学生以下の子供を持つ母親300名を対象に、室内の除菌の実態について調査を実施致しました。また、菌の専門家である近畿大学農学部の坂上吉一先生に、春に菌が増える原因と効果的な除菌対策について教えていただきました。

春は冬よりも菌が増える季節！なのに、ほとんどのママたちには知られていない。

- 菌の増殖には温度と湿度が重要。春は冬と比べ菌の増殖スピードは速い。(坂上先生)
- 一方、ママたちは、「春」(9.7%)よりも「冬」(27.0%)の方が菌が増えると勘違いしている。

ソファやベッドなど洗にくい布製品の手入れ率、5割。掃除の盲点アイテムに。

- 洗にくい布製品の汚れは菌に栄養を与える温床。(坂上先生)
- 室内の掃除などによるお手入れ、トイレやお風呂は9割以上が実践するも、ソファやベッドなど洗にくい布製品は5割。
- ソファやベッドの掃除が「おろそかになっている」と感じるのは約2割。手入れの必要性すら感じていない。

よく分からないから、面倒だから、布製品の除菌は「不十分」(76.7%)になりがち。

- 布製品を手入れするママでも、除菌をするのは半数程度。ソファを「毎日除菌」するのはたった2.9%。
- 布製品の除菌、「十分できている」のは2.3%。ママの8割が「しっかりしたいがケアできない」(76.7%)。
- 布製品を除菌しない理由は、「除菌方法がよくわからない」(85.0%)、「面倒に思う」(82.7%)から。
- 布製品の汚れの消臭・除菌スプレーによるケアは簡便で合理的。(坂上先生)

便利な除菌アイテムにニーズ。「除菌するほど菌が強くなる」除菌スプレーを7割が歓迎。

- 「生地が色落ちしない」(93.7%)、「生地が傷まない」(92.0%)、「除菌効果が高い」(90.3%)除菌アイテムが欲しい。
- 「除菌するほど菌が強くなる」除菌スプレーを72.7%が歓迎。
- 一度除菌をしてもまた菌は増える。一定間隔でこまめに除菌することが重要。(坂上先生)

「ファブるほど菌が強くなる！」消臭・除菌スプレー ファブリーズ

調査概要

■調査対象：全国の小学生以下の子供を持つ20代～50代の母親300人

■調査手法：インターネット調査

■調査日程：2015年2月17日(火)～2月18日(水)

近畿大学農学部教授 坂上吉一先生に聞く、春と菌の関係

欧米には“Spring cleaning”という言葉があり、春から初夏にかけてが大掃除のシーズンです。日本の大掃除は年末が一般的ですが、春はカビが繁殖しやすくなる梅雨前ということもあり、いち早く除菌するのに適した“菌ケア”の季節です。

そこで、環境微生物学が専門で、微生物をコントロールする方法について研究なさっている近畿大学 農学部 環境管理学科教授の坂上吉一先生に、菌と季節の関係や、家庭内での除菌についてお話を伺いました。

◎菌の増殖には温度と湿度が重要。春は冬と比べ菌の増殖スピードは速い。

菌が増えるには温度と湿度の上昇が重要です。そのため、一般的には春は冬と比べ菌が増える季節と言えます。冬場の1桁台の気温と、春先の20度台の気温では、菌が増える速度は全く違います。

室内については、冬は暖房などで温度が上がっていますが、適宜加湿器を使用しないかぎり、空気は乾燥しています。温度と湿度、両方が合わさって菌が繁殖しやすい環境になるので、乾燥に強いウイルスなどとは異なり、カビや細菌などの菌については、冬場は乾燥しているためそれ程増殖しないと言えます。

◎菌の増殖には菌の栄養源となる汚れ(有機物)が必要。細胞が活性化する春は菌が繁殖しやすい。

また、菌が増えるには栄養源も必要です。布製品などでの「汚れ」の原因となる、人間のフケ、汗、あか、髪の毛などの有機化合物がそれにあたるのですが、春は人間が活動的になるため、汗もあかも増え、菌の栄養となる有機化合物が増える季節と言えます。また、細胞も新陳代謝してくるので、春の方が活性化すると考えられます。これら汚れや細胞が菌の温床となって、春に菌は増えていくと考えられます。

◎布製品の汚れは菌に栄養を与える温床。消臭・除菌スプレーによるケアは簡便で合理的。

今回の調査では、洗いにくいためか、家庭でカーテンを手入れする頻度は比較的低いようですが、もし1年に1回カーテンを洗うとして、いつ洗うのが効果的だと思いますか？ 答えは春の終わりから、梅雨前にかけてです。菌がぐっと増える季節を迎える前に、菌が増えるのに必要な栄養(汚れ)を除去しておくのが効果的です。

また、カーテンは洗えるからまだいいのですが、ソファなどの洗えない布製品のケアについては、菌を増やさないよう、定期的にケアすることが大事と言えます。ソファに座るなど、布製品を使うとどうしてもフケや汗、あかなどの汚れ(有機化合物)はついてしまい、そういうところには菌が住みやすくなっています。洗って菌を落とせない布製品については、除菌は絶対に必要なケアと言えます。消臭・除菌スプレーによる除菌は、手っ取り早く、理にかなっていると言えます。

◎一度除菌をしてもまた菌は増える。適宜こまめに除菌することが重要。

一度除菌をしても、環境によってまた菌が増えてきます。消臭・除菌スプレーにはアルコールと除菌成分が入っており、使うとアルコールはすぐ飛びますが、除菌成分は残ります。除菌成分の残留効果、積み足しがあるので、除菌の回数が増えるほど除菌の効果は高まると考えられます。消臭・除菌スプレーは適宜繰り返し使い、こまめに除菌を行うことが重要です。



坂上 吉一(さかがみ・よしかず)先生

近畿大学 農学部 環境管理学科 教授。

大阪府立公衆衛生研究所勤務。岐阜薬科大学大学院研究生を経て、2005年4月より近畿大学農学部環境管理学科 に勤務。現在に至る。日本防菌防黴学会副会長。専門は環境微生物学、環境科学、公衆衛生学。人間に危害を加える可能性のある微生物をコントロールする方法について研究を進めている。

ママたちの菌意識と家の中の手入れの実態

■春は菌が増える季節！なのに、ほとんどのママたちには知られていない。

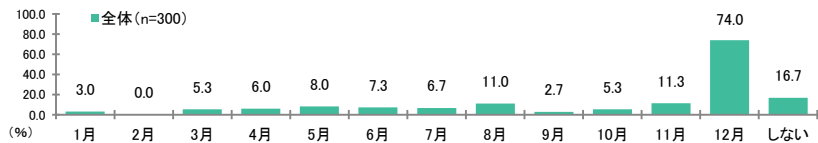
坂上先生のお話によると、「春は菌が増える季節」ですが、ママたちはどう思っているのでしょうか？

小学生以下の子どもを持つママに家庭内の菌が最も増える季節を聞くと、「夏」(62.0%)が最も多く、次いで「冬」(27.0%)となり、「春」に菌が増えると答えたのは9.7%と1割以下[グラフ1]。春に大掃除をするママは少なく、3月は5.3%、4月は6.0%しかいません[グラフ2]。ママたちの多くは、春よりも冬の方が菌が増えると思っていますが、実は、春は菌が増殖する季節。掃除や除菌などをきちんと行いたいものです。

[グラフ1]家庭内の菌が増えると思う季節



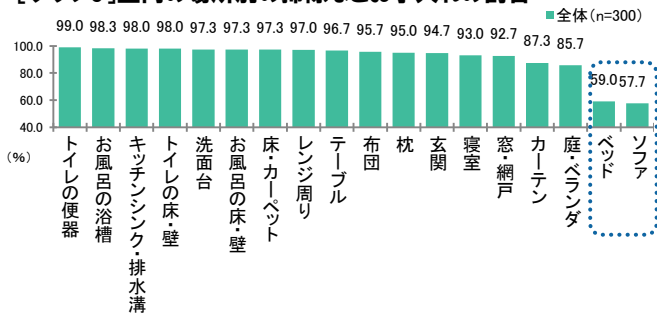
[グラフ2]大掃除をする時期(複数回答)



■ママは部屋のどこもしっかりお手入れしているのに、ソファやベッドなど洗にくい布製品の手入れの率は5割台に急降下。

次に、室内の各場所別に掃除などお手入れをしているかを聞くと、「トイレの便器」(99.0%)、「お風呂の浴槽」(98.3%)と、多くはお手入れ率が9割前後なのに対し、「ソファ」(57.7%)、「ベッド」(59.0%)などの布製品を手入れをする率は5割台と、極端に低率です[グラフ3]。ソファやベッドのお手入れの内容は、「掃除機をかける」(ソファ48.0%、ベッド48.6%)程度です[表1]。

[グラフ3]室内の場所別の掃除などお手入れの割合



[表1]ソファ、ベッドのお手入れの内容(複数回答)

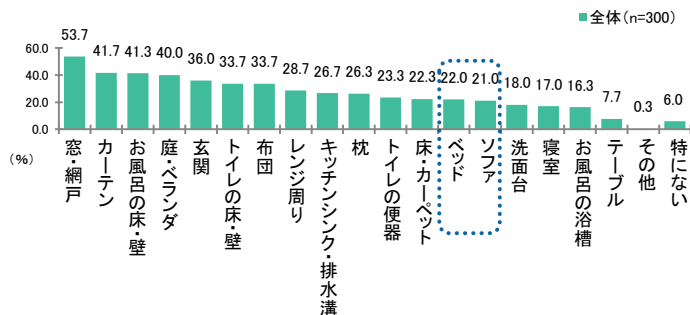
順位	ソファのお手入れ (n=173)		ベッドのお手入れ (n=177)	
	内容	割合 (%)	内容	割合 (%)
1位	掃除機をかける	48.0	掃除機をかける	48.6
2位	ほこりを取る・はたく	29.5	ほこりを取る・はたく	29.4
3位	消臭・除菌スプレーをする	28.9	消臭・除菌スプレーをする	27.7

■ソファなど布製品は、手入れがおろそかになっているとすら「感じない」、盲点アイテム。

掃除がおろそかになっていると感じる場所としては、「窓・網戸」(53.7%)、「カーテン」(41.7%)、「お風呂の床・壁」(41.3%)、「庭・ベランダ」(40.0%)などがあげられ、「ソファ」(21.0%)や「ベッド」(22.0%)のお手入れがおろそかになっていると感じるママは2割と少数派[グラフ4]。ソファやベッドなどの布製品は、そもそも「掃除しない」し、お手入れがおろそかになっているとすら「感じない」、盲点アイテムとなっています。

坂上先生のお話にあった通り、布製品の汚れは菌を増殖させる栄養源になります。お手入れがしにくいからと放置すると、菌の温床となる危険性がさらに高くなりそうです。

[グラフ4]掃除がおろそかになっていると感じる室内の場所

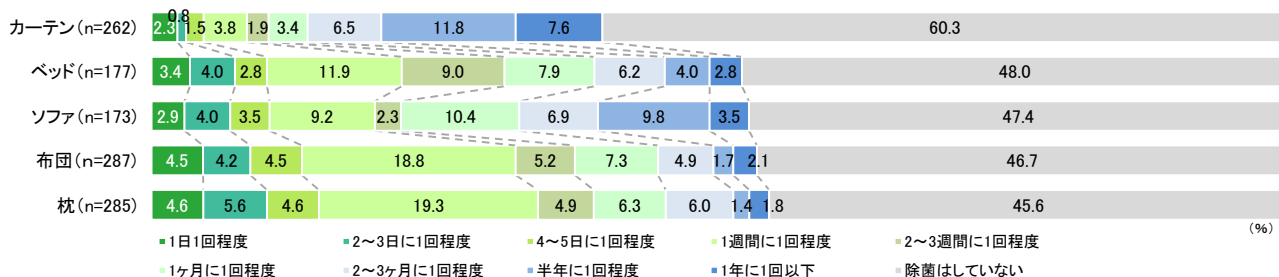


洗にくい布製品の除菌の実態

■ソファなどの布製品は、除菌についても約半数はしないまま放置。

手入れがおろそかになりがちなソファなど洗にくい・洗えない布製。除菌はどの程度の頻度でしているのかを聞くと、「除菌はしていない」という人が圧倒的に多く、「カーテン」で60.3%、「ベッド」(48.0%)、「ソファ」(47.4%)、「布団」(46.7%)、「枕」(45.6%)と、約半数の人が布製品の除菌をしていません。ソファを毎日除菌する人は、わずか2.9%です[グラフ5]。

[グラフ5]洗にくい布製品の除菌の頻度



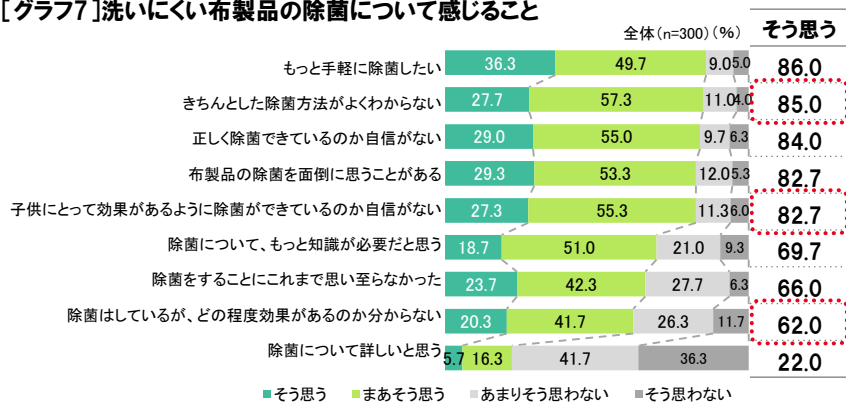
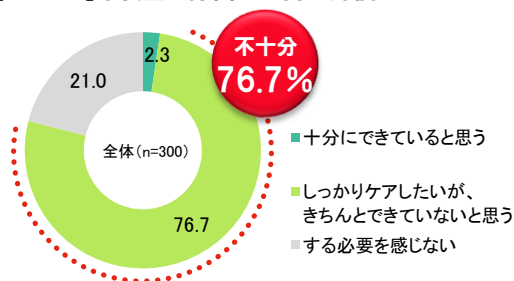
■除菌方法が「よくわからない」(85.0%)し、「面倒」(82.7%)だから、布製品の除菌は「しっかりケアしたいのにできていない」(76.7%)と自己評価。「十分」な人はわずか2.3%。

そのため、布製品の除菌についての自己評価を聞くと、「十分できている」と答えたママはわずか2.3%で、8割近く(76.7%)が「しっかりケアしたいがきちんとできていないと思う」(76.7%)と答えています[グラフ6]。

その理由として、「きちんとした除菌方法がよくわからない」(85.0%)や「除菌はしているが、どの程度効果があるのかわからない」(62.0%)など、除菌についてわからないことが大きいようです[グラフ7]。自由回答でも除菌についての様々な疑問や要望があげられました。

[グラフ6]布製品の除菌への自己評価

[グラフ7]洗にくい布製品の除菌について感じるごと



布製品の除菌について思うこと(自由回答)

※小数点1位以下を四捨五入している関係上、足し上げてが100%にならないグラフもあります。

- 洗えないものの除菌方法がわからない。<兵庫県・48歳>
- ソファなどは洗うことができないし、干すこともできないので掃除の仕方がわからない。<埼玉県・38歳>
- どのような除菌方法が良いのかよくわからない。<埼玉県・29歳>
- ちゃんと(除菌)できているか不安。<大阪府・41歳>
- どの程度スプレーを使用したら効果があるのかよくわからない。<兵庫県・38歳>
- 布製品は大きいものが大きいので、洗濯や除菌することがまず一苦勞。重い腰を上げて・・・という感じ。<東京都・30歳>
- 面倒くさいのであまりやる気にならない。<広島県・34歳>
- 洗える物はいいが、簡単に洗えない物はどうすればいいか悩む。「これ1つで」という商品があれば助かる。<東京都・45歳>
- 頻繁に洗えないものに効率よく除菌出来る商品があるとよい<東京都・40歳>

除菌アイテムに求めること

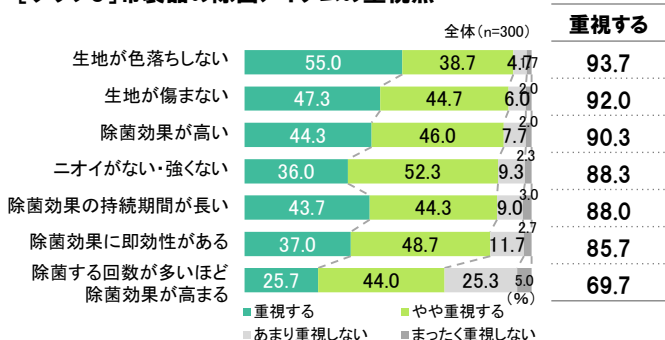
■手軽に使い、生地にやさしくしっかり除菌できるアイテムにニーズ。

「除菌するほど菌が強くなる」除菌スプレーを72.7%が歓迎。

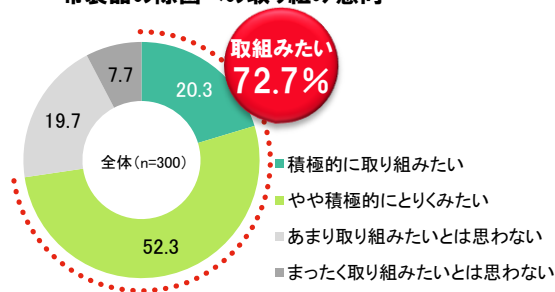
正しい方法がよく分からず、また面倒な布製品の除菌。布製品の除菌アイテムを選ぶとしたら、何を重視するかを聞くと、「生地が色落ちしない」(93.7%)、「生地が傷まない」(92.0%)、「除菌効果が高い」(90.3%)の順となり、「生地にやさしく除菌効果が高いもの」が外せない条件となりました[グラフ8]。

坂上先生は、「除菌成分の残留効果、積み足し効果で、除菌の回数が増えるほど除菌の効果は高まる」とおっしゃっていますが、このように使用するほど効果が高まる除菌スプレーを使った布製品除菌について、72.7%が「取り組みたい」と回答し、高い利用意向を示しています[グラフ9]。

[グラフ8] 布製品の除菌アイテムの重視点



[グラフ9] 使用するほど効果が高まる除菌スプレーを使った布製品の除菌への取り組み意向



※小数点1位以下を四捨五入している関係上、足し上げてが100%にならないグラフもあります。

「ファブるたび、布が菌に強くなる！」(※) 消臭・除菌スプレー ファブリーズ

「ファブリーズ」は、布用、お部屋用、トイレ用、車用、と用途別ラインナップがそろった総合エアケアブランドです。中心製品の布用消臭スプレー「ダブル除菌」は、バイ菌の細胞壁を破壊して除去するダブル除菌効果で、バイ菌を99.9%除去。お部屋のソファやカーテンなどの洗にくいアイテムも手軽に消臭・除菌できます。また、何度もスプレーするほど抗菌効果が高まることが実証されており、継続的に使用することによって、より効果が発揮できます。布用消臭スプレーは、香りが残らないタイプ、人気の柔軟剤「ダウニー」の香り、香りを楽しめる芳香タイプなど種類も豊富です。

(※) 抗菌力が高まること



(ダブル除菌)



(緑茶成分入り
ダブル除菌)



(そよぐ草原の香り)



(くつろぐフローラル
ブーケの香り)



(ダウニー
エイプリルフレッシュの香り)



(香料無添加)



(ムーンライト
ラベンダーの香り)



(ジャスミンドリーム
の香り)



(プリンセスナイト
ローズの香り)



(クルマ用ダブル除菌)



(クルマ用 ダウニー
エイプリルフレッシュの香り)



(ハウスダスト
クリア)

<本件に関するお問い合わせ先>

広報代行 株式会社電通パブリックリレーションズ 担当: 植野・山浦

TEL: 03-5565-6499 / FAX: 03-3546-2017